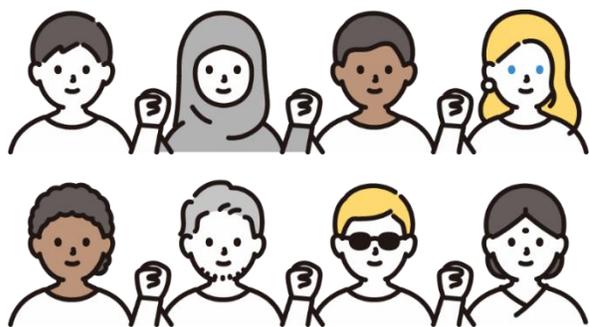


実践研究で大切にしたいこと



『各教科等の指導の重点』を踏まえた授業改善

柱1

小:「話すこと」
中:「話すこと」「書くこと」の
英語発信力の向上

柱2

学年間・校種間の系統的な
指導の充実

『各教科等の指導の重点』を踏まえた授業改善

柱1

小:「話すこと」
中:「話すこと」「書くこと」の
英語発信力の向上

柱2

学年間・校種間の系統的な
指導の充実

『各教科等の指導の重点』を踏まえた授業改善

外国語活動・外国語

重点事項	取組み
1 育成を目指す資質・能力を明確にした単元構成	<p>(1) 学年・領域別の目標に基づいた単元及び本時の目標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 単元で目標とする領域を定める。 □ 目標に定めた領域に関して、「何ができるようになるか」を明確にして単元目標や言語活動等を設定する。 <p>(2) 児童生徒の姿を明確にした指導と評価の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 単元末で目指す児童生徒の具体的な発話などをイメージする。 □ イメージした姿の実現に向けた指導と評価の計画を立てる。 □ 記録に残す評価は、単元の目標に沿って言語活動と指導を繰り返し行い、児童生徒の力が高まった時点で位置付ける。
2 言語活動を通じた指導の充実	<p>(1) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの明確な設定</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 児童生徒にとってコミュニケーションを行う必然性のある言語活動を単元や本時の中心に位置付ける。 <p>(2) 語句や表現などを児童生徒が選択しながら活用する活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 言語活動では、使用させたい言語材料を示しすぎず、自分が伝えたい内容を英語でどう表現すればよいか、児童生徒が考えるようにする。 <p>(3) 児童生徒の気づきを引き出す中間指導の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 活動と活動の間に、目標の実現に向けた指導を行う。 □ 児童生徒の発話などをもとに、使用する英語の正確さや表現内容の適切さについて、児童生徒の気づきを促すようにする。

3 発達段階に応じた指導の充実	<p>【小学校】</p> <p>(1) 音声による十分な慣れ親しみを基にした授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 教師やALTの発話により、慣れ親しませたい表現を含む自然な場面の中で使用場面や発話内容、文構造等に児童が気付けるようにする。 □ 音声で十分に慣れ親しんだ表現を用いて、児童が知りたいことを相手に質問したり、相手の質問に答えたりするやり取りの場を繰り返し設定する。教師は、児童の発話内容を共感的に受け止めながらやり取りを促す。 <p>※「読むこと」「書くこと」では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を扱うことに留意する。</p> <p>【中学校】</p> <p>(2) 小学校の学びを活かした系統的な指導</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 小学校で学んだ語句や表現、言語の使用場面等を把握する。 □ 小学校で行った言語活動を踏まえて繰り返し指導したり、類似の場面を取り上げて想起させたりしながら活用と定着を促す。 <p>※小学校の「書くこと」は、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、例文を参考に書いたりする程度であることに十分留意して中学校での指導にあたる。</p>
-----------------	---

1. 育成を目指す資質・能力を明確にした単元構成

柱2

(1) 学年・領域別の目標に基づいた単元及び本時の目標の設定

- 単元で目標とする領域を定める。
- 目標に定めた領域に関して、「何ができるようになるか」を明確にして単元目標や言語活動等を設定する。

おすすめの場所について、わかりやすく伝え合うことができる。

1. 育成を目指す資質・能力を明確にした単元構成

柱2

(1) 学年・領域別の目標に基づいた単元及び本時の目標の設定

- 単元で**目標とする領域**を定める。
- 目標に定めた領域に関して、「何ができるようになるか」を明確にして単元目標や言語活動等を設定する。

おすすめの場所について、わかりやすく**伝え合う**ことができる。

話すこと [やり取り]

1. 育成を目指す資質・能力を明確にした単元構成

柱2

(1) 学年・領域別の目標に基づいた単元及び本時の目標の設定

- 単元で目標とする領域を定める。
- 目標に定めた領域に関して、「**何ができるようになるか**」を明確にして単元目標や言語活動等を設定する。

おすすめの場所について、**わかりやすく**伝え合うことができる。

例えば、

自分の考えを述べる

相手に質問する

理由を述べる

相手が理解できない
ときにくり返す

1. 育成を目指す資質・能力を明確にした単元構成

柱2

(1) 学年・領域別の目標に基づいた単元及び本時の目標の設定

- 単元で目標とする領域を定める。
- 目標に定めた領域に関して、「**何ができるようになるか**」を明確にして単元目標や言語活動等を設定する。

おすすめの場所について、**わかりやすく**伝え合うことができる。

例えば、

おすすめの場所について、**自分の考えやその理由などを**伝え合うことができる。

1. 育成を目指す資質・能力を明確にした単元構成

柱2

(2) 児童生徒の姿を明確にした指導と評価の計画

- 単元末で目指す児童生徒の具体的な発話などをイメージする。
- イメージした姿の実現に向けた指導と評価の計画を立てる。
- 記録に残す評価は、単元の目標に沿って言語活動と指導を繰り返し行い、児童生徒の力が高まった時点に位置付ける。

おすすめの場所について、自分の考えやその理由などを伝え合うことができる。

1. 育成を目指す資質・能力を明確にした単元構成

柱2

(2) 児童生徒の姿を明確にした指導と評価の計画

- 単元末で目指す児童生徒の**具体的な発話など**をイメージする。
- イメージした姿の実現に向けた**指導と評価**の計画を立てる。
- 記録に残す評価は、単元の目標に沿って**言語活動と指導を繰り返し**行い、児童生徒の力が高まった時点に位置付ける。

おすすめの場所について、自分の考えやその理由など伝え合うことができる。

おすすめの場所について伝え合っている具体的な発話を書き出すのもよい

具体的であれば、指導すること・評価することも明確になる

2. 言語活動を通じた指導の充実

柱1

(1) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの明確な設定

- 児童生徒にとってコミュニケーションを行う必然性のある言語活動を単元や本時の中心に位置付ける。

おすすめの場所について、自分の考えやその理由などを伝え合うことができる。

2. 言語活動を通じた指導の充実

柱1

(1) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの明確な設定

- 児童生徒にとって**コミュニケーションを行う必然性**のある言語活動を単元や本時の中心に位置付ける。

おすすめの場所について、自分の考えやその理由など伝え合うことができる。

誰と？

何のために？

例えば、

クラスメートが行ってみたいと思えるように、

おすすめの場所について、自分の考えやその理由などを伝え合うことができる。

2. 言語活動を通じた指導の充実

柱1

(2) 語句や表現などを児童生徒が選択しながら活用する活動の充実

- 言語活動では、使用させたい言語材料を示しすぎず、自分が伝えたい内容を英語でどう表現すればよいか、児童生徒が考えるようにする。

クラスメートが行ってみたいと思えるように、

おすすめの場所について、自分の考えやその理由などを伝え合うことができる。

2. 言語活動を通じた指導の充実

柱1

(2) 語句や表現などを児童生徒が選択しながら活用する活動の充実

- 言語活動では、**使用させたい言語材料を示しすぎず**、自分が伝えたい内容を英語でどう表現すればよいか、児童生徒が考えるようにする。

クラスメートが行ってみたいと思えるように、

おすすめの場所について、自分の考えやその理由などを伝え合うことができる。

▲ You should visit □. に当てはめて...

▲ 最初におすすめの場所を言って、次にその理由を言おう...

2. 言語活動を通じた指導の充実

柱1

(2) 語句や表現などを児童生徒が選択しながら活用する活動の充実

- 言語活動では、使用させたい言語材料を示しすぎず、**自分が伝えたい内容を英語でどう表現すればよいか、児童生徒が考える**ようにする。

クラスメートが行ってみたいと思えるように、

おすすめの場所について、自分の考えやその理由などを伝え合うことができる。

行ってみたいと思ってもらうには、...

最初に場所を言って、次にその何がおすすめか伝えるとよいか。

英語でどう表現すればよいか？

2. 言語活動を通じた指導の充実

柱1

(3) 児童生徒の気付きを引き出す中間指導の設定

- 活動と活動の間に、目標の実現に向けた指導を行う。
- 児童生徒の発話などをもとに、使用する英語の正確さや表現内容の適切さについて、児童生徒の気付きを促すようにする。

クラスメートが行ってみたいと思えるように、

おすすめの場所について、自分の考えやその理由などを伝え合うことができる。

2. 言語活動を通じた指導の充実

柱1

(3) 児童生徒の気付きを引き出す中間指導の設定

- 活動と活動の間に、**目標の実現に向けた指導**を行う。
- 児童生徒の発話などをもとに、**使用する英語の正確さ**や**表現内容の適切さ**について、児童生徒の**気付きを促す**ようにする。

クラスメートが行ってみたいと思えるように、

おすすめの場所について、自分の考えやその理由などを伝え合うことができる。

今のやり取りで行ってみたいと思ってもらえたか？

どんな情報を言えばよいか？どんな構成で？

英語でどう言えばよいか？

正確な英語を用いて伝え合っているか？

令和7年度『各教科等の指導の重点』を踏まえた授業改善

柱1

小:「話すこと」
中:「話すこと」「書くこと」の
英語発信力の向上

柱2

学年間・校種間の系統的な
指導の充実

柱1

小:「話すこと」
中:「話すこと」「書くこと」の
英語発信力の向上

- ・児童生徒の英語使用の充実
- ・教師の英語による発話

柱2

学年間・校種間の系統的な
指導の充実

目標のつながり

柱1

小:「話すこと」
中:「話すこと」「書くこと」の
英語発信力の向上

- ・児童生徒の英語使用の充実
- ・教師の英語による発話

柱2

学年間・校種間の系統的な
指導の充実

目標のつながり

柱1

「話すこと」「書くこと」の英語発信力の向上

児童生徒が授業中に英語を使用する機会を確保しましょう。

- ✓ もちろん十分なインプットを大切に
- ✓ 授業中に英語を使用する量の確保
- ✓ 児童生徒が「自分で考えて」英語を使う機会
- ✓ 「書くこと」の前に、音声で聞く・話す

柱1

「話すこと」「書くこと」の英語発信力の向上

先生が積極的に英語を使いましょう。

- ✓ 先生の英語使用の目的
- ✓ 児童生徒の理解の程度に応じた英語
- ✓ 授業の中で児童生徒とたくさんやり取り
- ✓ 日本語で補足...？

柱1

小:「話すこと」
中:「話すこと」「書くこと」の
英語発信力の向上

- ・児童生徒の英語使用の充実
- ・教師の英語による発話

柱2

学年間・校種間の系統的な
指導の充実

目標のつながり

柱 2

学年間・校種間の系統的な指導の充実

目標のつながり・目標と評価とつながる指導を行きましょう。

- ✓ 例えば「話すこと [やり取り] 」では、各学年でどのようなやり取りができるかよいですか？

柱 2

学年間・校種間の系統的な指導の充実

✓ 「話すこと [やり取り]」の例（あくまでも一例です）

小3・4	小5	小6	中1	中2	中3
慣れ親しみ ・ 依頼に応じる ・ 応答する	・ 質問に答える ・ 依頼に応じる、 断る ・ 応答、コメン トする	・ 関連する質問 をする ・ 自分のことを 付け加える	・ 関連する質問 をする ・ 話題を広げる ・ コメントする ・ 応答する	・ 引用する ・ 考えを述べる ・ 不明な点を質 問する	・ 確認する ・ 言い換えなが ら説明する ・ 相手の様子を見 て説明する